

大阪市立大学医学部附属病院 「治療と職業生活の両立支援」に関する相談窓口を設置

大阪市立大学医学部附属病院は、独立行政法人労働者健康安全機構 大阪産業保健総合支援センター（以下 大阪産保センターという）と連携し、2018年4月から毎月1回「治療と職業生活の両立支援」のための相談窓口を当院内に設置します。

現在、日本の労働人口の約3人に1人が何らかの疾患を抱えながら働いていると言われており、医療機関では診断当初から就労の相談支援ができる環境の整備が求められています。

相談窓口では、毎月の第3月曜日に、大阪産保センターの両立支援促進員が当院に出張し、治療と職業生活の両立を図るための相談を実施します。

「治療と職業生活の両立支援」窓口について

日 時：毎月第3月曜日 13時～16時（予約制）

予約方法：①電話 06-6645-2725

②直接来院（1階医療相談①②窓口）

※①②とも、月～金（祝日除く）9時～16時45分

費 用：無料

相談内容例（一部）

- ・医師からの指導内容を、どのように会社に伝えていいのかわからない
- ・治療を受けながら働き続けることに不安がある
- ・復職しようとしても解雇されるのではないかと不安である

両立支援のカードをお配りしています！

表面

がんと診断されたあなたへ

治療を受けながら働き続けることを不安に思っている方はご相談ください。

ご相談、支援は全て無料

治療と職業生活の両立で悩んだら、
専門家にご相談ください。

あなたと会社（事業者・人事労務担当者など）との間の調整は、大阪産業保健総合支援センターと医療機関が連携して支援致します。

治療と仕事の両立支援

裏面

仕事をやめる必要はありません！

- ◆ 治療を受けながら仕事を続けることが可能です。
- ◆ 働き続けることは生きがいにもなります。
- ◆ 治療にあわせた働き方を、私たちと一緒に考えていきましょう。

支援内容などについては、お気軽にお問い合わせください。

- 大阪産業保健総合支援センター
TEL：06-6944-1194（平日9:30～17:00）
- 大阪市立大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL：06-6645-2725（平日9:00～16:45）

がんの治療をしながら「働き続けたい」方へ 「仕事と治療の両立支援」が始まります！

大阪市立大学医学部附属病院がん相談支援センターと 大阪産業保健総合支援センターが連携し、ご相談を お受けいたします。

～ こんな悩み・不安を相談することができます～

- ・ 治療内容から働き続けられるかわからない。
- ・ 治療を受けながら働き続けることに不安がある。
- ・ 復職する際、同じように働けるか不安だ。
- ・ 働き続けるにあたって治療と仕事の両立支援について聞きたい。
- ・ 医師からの指導内容をどう会社に伝えてよいかわからない。
- ・ 就業上の留意点を会社に提出するための意見書を書いてほしい。
- ・ 上司、同僚の理解が得られるか不安だ。
- ・ 復職しようとしても、解雇されるのではないか不安だ。

勤務を続けることが
できるか等の相談

意見書等に配慮内容を
記載してもらうための助言

その他治療中における
健康不安についての相談

症状・治療状況に就業上の配慮を
促すための連携対応

治療と仕事ができる
休暇制度等を会社側に提案

関係機関の紹介

大阪産業保健総合支援センターの 両立支援促進員による相談

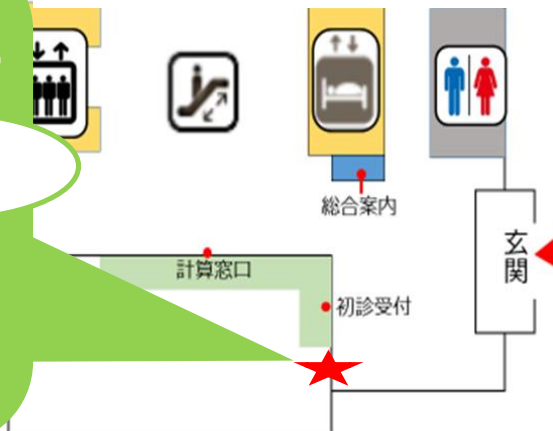
予約制

無料

毎月 第3月曜日
13:00～16:00
(大阪市立大学医学部附属病院内)

予約・問合せ：病院1階医療相談①②窓口
06-6645-2725
(大阪市立大学医学部附属病院がん相談支援センター)

<大阪市立大学医学部附属病院1階 案内図>



大阪市立大学医学部附属病院・大阪産業保健総合支援センター